地元の魅力を再発見！　地域密着のフリーペーパー

吉祥寺時間

kichijoji-time.com

Vol
00

TAKE FREE



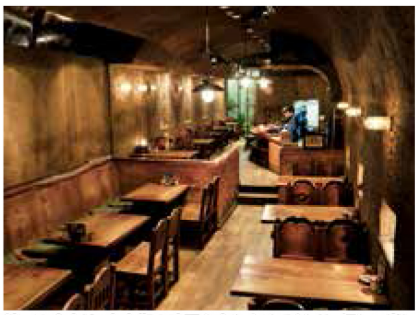
ほっこり吉祥寺。

撮影協力: ハモニカキッチン　Photo／Makoto Motomiya



35年近く愛されるスパイシーなカレーは、玉ねぎを半日炒め1日かけて仕込む、創業者の味を受け継いだ一皿。ゴロっと大きなポークが食べ応えあり

洞窟のような喫茶店で名物カレーを



地下の店内は、商店街の喧騒を忘れさせてくれる、優しい光に包まれたムードある空間。奥のグリーンがアクセントに



『くぐつ草カレーセット』1,750円は、ミニサラダとコーヒー or 紅茶付き。『くぐつ草カレー』の単品は1,250円

COFFEE HALL くぐつ草

クグツソウ

江戸時代から続く「江戸糸あやつり人形劇団 結城座」が、1979年に開店したのが始まり。"洞窟のよう"と称される店内は、劇団の海外公演で訪れた建築物の、土壁と木の雰囲気をイメージした空間だそう。創業時は、コーヒーとトーストなどのシンプルなメニューだったが、お客さんの要望でレアチーズケーキやカレーなどが追加された。住民と一緒に歩んできた地元密着カフェだ。

武蔵野市吉祥寺本町1-7-7 島田ビルB1F
☎0422-21-8473　[休]無休
[営]10:00〜22:00

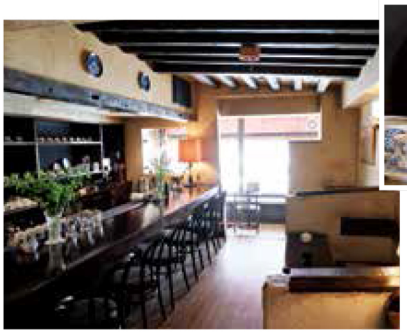


コーヒーは、2年間エイジングして焙煎された、コクテル堂の豆を使用。コクテル堂から座長が教わった、直伝の淹れ方を受け継ぎ、ネルドリップで提供

吉祥寺レトロ時間 Cafe & B



レトロな雰囲気に包まれながら、のんヒーを。Barではジャズのグルーヴにのも吉祥寺の魅力だ。カフェ＆バー巡





クラシック音楽が流れる、落ち着いた雰囲気の店内。カウンター奥の棚には、実際に店で使われているマイセンやヘレンド、ウエッジウッドなど、高級磁器がズラリと並ぶ

武蔵野珈琲店

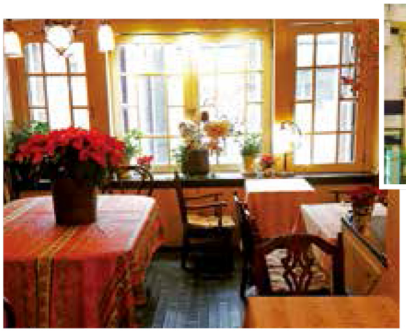
ムサシノコーヒーテン

井の頭公園へと続く七井橋通りのビルで、1982年から続く喫茶店。芥川賞を受賞した「火花」は、作品に登場するだけでなく、ここで執筆されたそう。

武蔵野市吉祥寺南町 1-16-11
荻上ビル2F
☎0422-47-6741　[休]無休
[営]11:00〜23:00



ネルドリップの『ブレンドコーヒー』620円。マンデリンやブラジルなど豆7種をブレンド。『チーズケーキ』530円にもマッチ





アンティーク調のインテリアに囲まれた、クラシカルな店内。パスタにカレー、ピザなど、豊富なフードメニューのラインアップも魅力。クリームソーダがSNSでバズって話題に

ゆりあぺむぺる

1976年に開店した、南口のパークロード沿いの喫茶店。19世紀末のアールヌーボーランプが演出する柔らかな灯りが、創業当時のままクラシカルな魅力を伝える。SNS映えで若者にも人気。

武蔵野市吉祥寺南町1-1-6
☎0422-48-6822　[休]無休
[営]11:30〜24:00



春は、はちみつを使ったムースにナッツとドライフルーツを散りばめた、香り豊かな『はちみつのケーキ』650円がおすすめ！





レトロな店が並ぶ、プチロードにあるバー。シックな店内は、カウンターではなくテーブル席なので、ゆっくり楽しめるのが魅力。店名は、アフリカ系アメリカ人の英雄から命名したそう



JOHN HENRY'S STUDY

ジョンヘンリーズ スタデイ

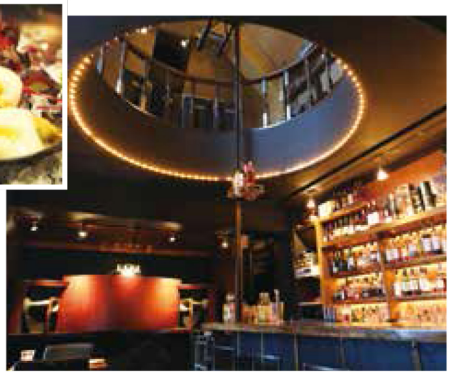
ジャズ評論家・寺島靖国氏がオーナーを務める、今年40周年を迎えた1980年創業のジャズバー。スタッフがオススメするスピリッツとリキュールを、月1回入れ替えて提供しているので、ジャズを楽しみながらグラスを傾けよう。

武蔵野市吉祥寺本町1-8-14 山水ビル 3F
☎0422-21-3854 ［休］無休
［営］17:30～24:30
（金曜、土曜、祝日前日17:30～25:00）



ピートが効いた『グレンリベット ハーフショット』900円と、人気メニューの『レーズンバター』550円





昔っぽさを残しつつ、新しい風をプラスした、大人なBarレストラン。メニューは日替わりで、旬なものが揃う。『ムール貝のアイオリソース』780円は、ビールにもワインにもぴったり！



『オリジナル ジントニック』890円は、ボトルの中にジュニパーベリーを漬け込んだ、オリジナルの一杯

Funky

ファンキー

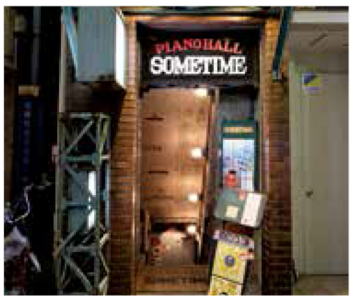
吉祥寺の父、野口伊織氏が最初にプロデュースしたジャズ喫茶が前身。毎月第３火曜に、アナログレコードをJBLパラゴンで楽しむ、「アナログファンキー」を開催。音楽と酒、料理のマリアージュが堪能できるBarレストランだ。

武蔵野市吉祥寺本町1-7-3
☎0422-21-1464 ［休］無休
［営］12:00～14:00、18:00～25:00
（土曜、日曜、祝日17:00～25:00）

arが好き



びりくつろげるお店がいっぱい。カフェで淹れたてコーノリながら一杯。１日中、思い思いの時間が楽しめるりを楽しみながら、お気に入りの場所を見つけよう！



ペニーレーン通りから地下に降りるエントランス。たった500円でジャズが楽しめるイベント「JAZZ FOR EVERYBODY」が、毎月第3木曜に開催中！

SOMETIME

サムタイム

1975年に誕生した古き良きジャズバー。7月で45周年を迎える店は、野口伊織氏がプロデュースした当時の趣きをそのままに、フードとアルコールがリーズナブルに楽しめる。毎日ライブが開催され、初めての人にも「来てヨカッタね」と言ってもらえるような、マニアックになりすぎないラインアップが魅力。

武蔵野市吉祥寺本町1-11-31 B1F
☎0422-21-6336 ［休］無休
［営］12:00～17:30、18:30～23:00、LIVE TIME19:30～、21:00～（昼の部14:00～、15:30～）チャージ別途あり





「ウエスト・サイド・ストーリー」の世界観をイメージした店内。50年代のニューヨークのバーに、タイムスリップしたような気分が味わえる



目の前で演奏するから、アーティストの指先が見られるのも魅力。（チャージ昼1,000円～、夜1,800円～、予約可）

上質なJAZZに包まれて…





チーズのコクに甘酸っぱさがアクセントになった『ブルーチーズとドライイチヂクのベーグルサンド』には、『シードル ストロング・ボウ ダーク・フルーツ』700円がぴったり！『自家製ピクルス』700円は、ピリッとスパイスが効いたサッパリした味わい

行ってみよう！ 買ってみよう！

テクテク

KICHIJOJI
商店街

探訪時間

吉祥寺の街には25もの商店街が点在。
商店街を散策して、新しい魅力を発見してみよう！

吉祥寺 サンロード商店街

大きなアーケードの商店街は、駅前から五日市街道まで約 300m 続く。
入り口を飾る漫画家・江口寿史先生のイラストが目印！

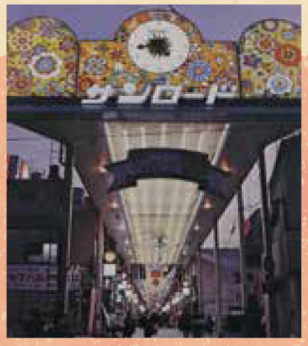
買い物やイベントに、歩いて楽しい吉祥寺北口のメインストリート

「サンロードになる前は、駅前通りと呼ばれていて、バス通りだったんだよ。砂利道をバスが走っていて、アーケードもなかった」と、教えてくれたのはサンロード商店街の理事長・寺岡芳雄さん。昭和45年までは、吉祥寺駅北口と五日市街道を結ぶ道が、駅前通りしかなかったため、車両と歩行者が一緒に通行していたそう。「吉祥寺大通りが開通したことで、昭和46年の11月に初代アーケードができたんだ。その翌年6月にサンロード商店街振興組合として発足したのがはじまりだね」と、高度経済成長期の真っ只中に、吉祥寺駅北口のメインストリートとしてサンロード商店街は誕生した。大時計が付いたカラフルな初代アーケードは、吉祥寺のランドマークとして親しまれたそう。そして、サンロードに生まれ変わったのを記念して、庶民の憧れの的だったカラーテレビが抽選でプレゼントされたという。そんな、くじ引きの景品からも、当時の時代背景を読み取ることができる。そして、現在の2代目アーケードは平成16年に完成。「今までにない斬新なアーケードを作りたいという思いがあった」と寺岡さん。「本町新道の上にもアーケードを架けて開閉式にし、屋根の素材は東京ドームと同じテフロン膜を採用した」と言う。計画した時は、公道をまたぐ屋根の前例はなかったというから、画期的な挑戦だったことは間違いない。



サンロードでは、月窓寺で行われる門前市、近隣商店街合同の秋祭りを中心に、様々なイベントを開催。特に夏と年末の、総額800万円の買い物券が当たるスクラッチセールが好評を博し風物詩に。近年チェーン店化が進むが、サンロード誕生時から続く老舗も多く残る。「今の立場に甘んじたらダメ」と寺岡さん。「先人たちの想いを実現し、次の世代に継承しなければ」と、共存共栄できる街づくりを目指す。

商店街 今昔写真館

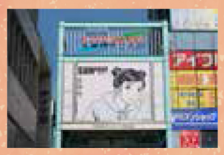


レトロモダンな雰囲気で親しまれた、誕生した頃の初代アーケード。時計が目印



提供：武蔵野市

北口の現ロータリー前。駅前通りと呼ばれていたサンロード入口



現在のサンロード入り口。江口寿史さんのイラストが出迎える



提供：武蔵野市

サンロードになる前の駅前通り。人々で賑わうなか、バスが通り抜けている懐かしい光景



横断歩道の上を、アーケードで覆った構造

Ⓕ もがめ食堂





『鶏と茄子の辛味噌定食』など定食はALL1,000円、単品700円。プラス100円（すべて税別）で、ミニカレーや生卵が付けられるので、アレンジもOK！

“美味しいご飯でお腹いっぱいに”をコンセプトにした、知る人ぞ知る小さな食堂。メニューは基本的に注文を受けてから一品ずつ手作り。定食＋4品の小鉢がつく豪華ランチが味わえる。ご飯はおかわり自由なので、心ゆくまでお袋の味を楽しもう！ 東急裏に2号店がオープンしたのでコチラも要チェック！

武蔵野市吉祥寺本町1-11-24 HALビルB1F
☎0422-20-4080 ［営］11:30～15:00、17:00～21:00 ［休］水曜

Ⓔ ランジェリーブティック瑠璃

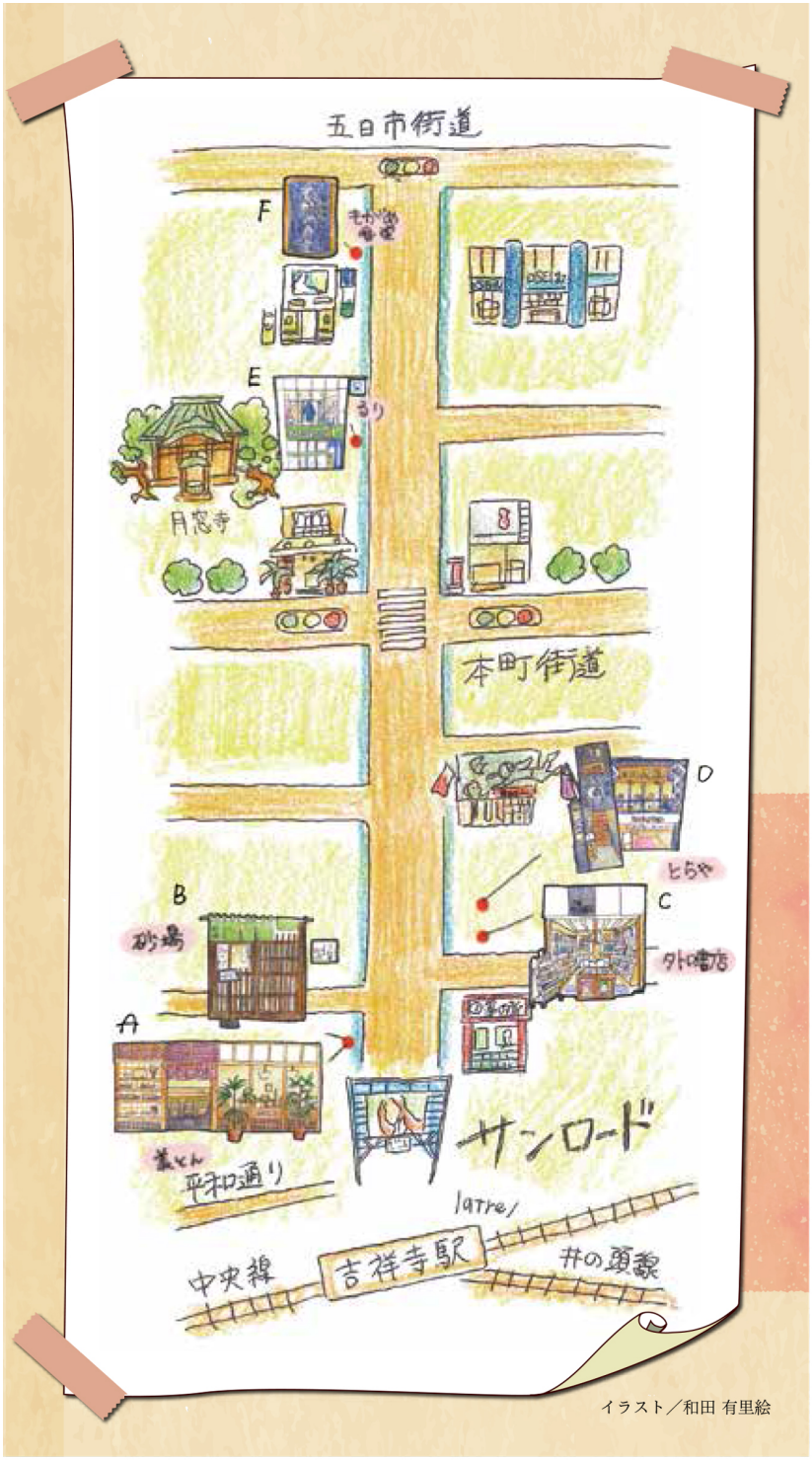




アットホームな雰囲気の店で和みながら、ブラフィッティングを！ そして話題のボディリストアリング®で全身のたるみをリフトアップして若返りボディに！

3代に渡り運営する、昭和49年創業の老舗の下着屋さん。提唱する『体軸調整ブラフィッティング®』は、バストアップはもちろん、体軸、体幹、呼吸改善をキーワードに、一人ひとりの骨格や姿勢の歪みにアプローチ。楽で健康的に、美しく過ごせる身体づくりをしたい方は、ぜひ相談してみて！

武蔵野市吉祥寺本町1-11-27 瑠璃ビル2F ☎0422-21-2240
［営］日により変動 ［休］不定休 ※営業時間とお休みはお問い合わせください



イラスト／和田 有里絵

Ⓐ とんかつ 美とん





厚めにカットされたとんかつが特徴。自家製パン粉と卵を何層にもつけることで、サクッと歯触り良い衣に仕上がる。『とんかつ定食』1,870円

先代の技を受け継ぎ、昭和45年から続くとんかつ専門店。脂の甘味と肉の旨味を凝縮したとんかつは、肉と衣が絶妙なバランスで楽しめ、世代を超えて愛される吉祥寺の味。「ジューシーなとんかつを、お腹いっぱい食べたい！」そんな願望を満たしてくれるアットホームな店は、12月に50周年を迎える。

武蔵野市吉祥寺本町1-9-10 シュープラザビルB1F　☎0422-22-8586
[営]11:30～15:00、17:30～21:00　[休]月曜　※営業時間と休みは、品切れや都合により変更の場合あり

Ⓑ 吉祥寺 砂場





東京二八蕎麦は、蕎麦と小麦の割合が8:2の蕎麦。香りと風味、そして喉ごしが満喫できる黄金比だ。そんな粋な味を『鴨せいろ』1,800円で賞味あれ

二大江戸前蕎麦の名店「砂場」の流れを汲み、吉祥寺で本格的な江戸前蕎麦が味わえる数少ない店。食事としてももちろん、お酒を楽しんでから江戸前蕎麦で締めるという利用もOK！秋田県産階上早生（はしかみわせ）の蕎麦粉を使用した、東京二八蕎麦をズズッとすすって、粋な気分を満喫しよう。

武蔵野市吉祥寺本町1-9-10 シュープラザビルB1F　☎0422-20-9808
[営]月曜11:00～15:00（昼のみ営業）、水曜～土曜11:00～15:00、17:00～22:00、日曜11:00～15:00、17:00～21:00　[休]火曜

Ⓓ 吉祥寺虎屋 茶寮 吉祥庵





手打ちうどんの『力うどん』980円と、さっぱりした甘さの『クリームあんみつ』980円（ともに税別）。春先からは、かき氷のシーズンが到来するのでご賞味あれ！

吉祥寺の老舗和菓子店による喫茶店。自慢の餡がたっぷり味わえる『あんみつ』や『小倉ケーキ』の和スイーツのほか、もちもちコシがある『うどん』など食事メニューが充実。商店街の賑わいと対照的な、琴のBGMが流れる和空間が、ほっこり癒しの時間を提供してくれる。ショッピング中の休憩に♪

武蔵野市吉祥寺本町1-14-1　☎0422-20-3011
[営]11:30～18:00　[休]月曜

Ⓒ 外口書店



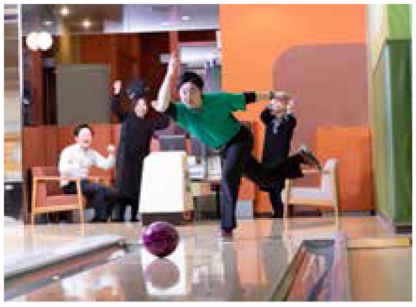


レジ前には、夏目漱石や高村光太郎の書簡など、歴史的な価値があるものも展示販売されている。スタッフに声をかければ、直接見ることも可能だ

サンロードが誕生するずっと前の昭和26年頃に、先代が開店した佃煮屋がはじまり。「すぐに潰れて古書店に転身したんだ」と店主の外口さん。主に扱うのは、文芸書を中心とした一般的な書籍がメイン。吉祥寺にゆかりある作家の書簡や自筆原稿など、希少価値の高い史料なども扱っている。

武蔵野市吉祥寺本町1-14-1　☎0422-22-5223
[営]10:00～20:00　[休]火曜

吉祥寺第一ホテル 東京ボウリングセンター





ボウリング2ゲーム+レストランバイキングの セットプランは、イベントなどにもってこい。フード&ドリンクコーナーは豊富なメニューが揃っていて満足度◎

“楽しく遊べる、楽しく集う”がテーマのコミュニティ型ホテル「吉祥寺第一ホテル」は、地域に愛される楽しいシティリゾート。併設の「東京ボウリングセンター」は、ホテルの開業と共に青山から吉祥寺へ移転した、歴史あるボウリング場です。昭和レトロ&アーリーアメリカンな雰囲気を目一杯満喫できますよ。

武蔵野市吉祥寺本町2-4-14　☎0422-21-9868（直通）［営］月～木曜10:00～21:30、金曜～22:30、祝前日～22:30／土曜9:00～22:30、日曜・祝日9:00～21:30

OLD/NEW SELECT BOOKSHOP 一日（いちにち）





街の空気を感じながら訪れてほしいという願いを込めて、2017年オープン。展示やイベントを積極的に行い、アーティストたちの“背中を押す”お手伝いをしています

“コミュニケーションできる本屋”がコンセプトの古本屋「百年（ひゃくねん）」の姉妹店、OLD/NEWな本屋「一日」。主にアートや写真などの本を多く取り扱い、ギャラリーではイラストや絵、写真、映像などジャンルを問わず、多くのアーティストの方が活躍できる貸しスペースとして利用されています。

武蔵野市吉祥寺本町2-1-3 石上ビル1F　☎0422-27-5990
［営］12:00～20:30　［休］火曜

ユニクロ 吉祥寺店





2Fのエスカレーター脇で、『マッピンジョージ』を展開。コチラは半年に1回のペースで更新しながら、吉祥寺の店舗を毎回3店ずつ紹介している

テーマに“ひと・まち・くらし”を掲げた、地域密着の大型店舗。7Fの『KICHIJOJI SPECIAL』は、地元の時計店とのコラボアイテムなどを展示する、独自のフロアです。スマホで作るオリジナルTシャツ『UTme!』が店舗でも作れ、キン・シオタニさん作の吉祥寺限定柄も選べます。

武蔵野市吉祥寺本町2-2-17　☎0422-28-0160
［営］10:00～21:00　［休］無休

BELLBET吉祥寺





ヴィンテージ独自の 風合いを活かしながら当時の美しさを蘇らせる、自社工房での優れたメンテナンス技術。丁寧な施しで、家具たちは息を吹き返します

1950～70年代の北欧家具を中心に、雑貨やランプ、アート作品など、大きな窓から差し込む光が優しく照らす店内にセンスよくディスプレイ。「BELLBET（ベルベット）」が取り扱うプロダクトたちは、一つひとつに独特の味わいとストーリーが込められています。長く愛せるあなただけの一点を探してみては？

武蔵野市御殿山1-5-7 2F　☎0422-24-7953
［営］11:00 – 19:00　［休］木曜　※定休日が祝日の場合は営業

GALLERY CAFE&BAR CHURCHWOOD





誕生日会や記念日等、ケーキや音楽、50インチモニターを使った演出などの相談もできます（3,000円/1h～※ドリンク代別途）。もちろんお一人さまでも楽しめますよ

お酒が飲めるGallery「CHURCHWOOD（チャーチウッド）」は、作品を肴にお酒や美味しいコーヒーを楽しめる、ARTな空間のCAFE&BAR。BARなのに、なんと食べ物の持ち寄りOK！ 8P掲載の吉祥寺在住カメラマン、高島空太さんの作品も多数展示しています。

武蔵野市吉祥寺本町2-14-7 2F　☎0422-27-2205　［営］CAFE TIME（土曜・日曜・祝日のみ）13:00～17:00、BAR TIME17:00～CLOSE　［休］無休

スニーカーショップSKIT 吉祥寺店





ハイテク全盛期の95年に登場した『エア・マックス アップテンポ95』16,200円。こちらはスコッティ・ピッペンが着用した通称“ブルズカラー”の復刻版！

ブーム再燃のスニーカーシーン。吉祥寺でスニーカーと言えばココ！ 入手困難なレアモデルから懐かしのモデルまで、幅広いラインアップが揃います。店内にはシュリンクフィルムに包まれた名機がズラリ！「雑誌で見たことはあるけれど、実物は初めて！」なんていう憧れの一足に出会えます！

武蔵野市吉祥寺南町1-18-1 D-ASSET吉祥寺1F　☎0422-47-6671
［営］11:00～20:00　［休］無休



吉祥寺中道通り商店街でショートトリップ気分

都市と地方、生産者と消費者をつなぐ店

武蔵野市・友好都市アンテナショップ 麦わら帽子





珍しい調味料や乾物なども豊富。精米したてのお米を1kg単位で購入できるのも嬉しい

都市と地方、生産者と消費者が交流し、商店街に賑わいをもたらす人気店のひとつ

気軽に立ち寄れるオープンな雰囲気。
店内はフラットなのでベビーカーや車椅子でもゆっくり買い物ができます

9つの友好都市選りすぐりの旬な特産品が勢ぞろい

吉祥寺駅北口を降りて中道通りをまっすぐ歩いていくと、何やら美味しそうなものが並んでいるおしゃれなマルシェのようなショップを発見。中をのぞいてみれば、木箱に入ったみずみずしい野菜や果物、お米や乾物などの加工品、スイーツなどなど近所のスーパーでは見かけない品々がずらり！ここはいったい何屋さん？

そう、ここは吉祥寺に暮らす人にはおなじみのアンテナショップ「麦わら帽子」。2001年に武蔵野市の事業として始まった「麦わら帽子」は、武蔵野市の友好都市の特産品や市内農家で栽培された農産物を中心に、地方の優れた商品を取り扱う「セレクトショップ」をコンセプトに運営されています。取り扱っている商品は、市内農家で栽培された農産物のほか、富山県南砺市、長野県安曇野市、長野県川上村、千葉県南房総市、岩手県遠野市、新潟県長岡市、広島県大崎上島町、山形県酒田市、鳥取県岩美町の9つの都市から直行便で送られてくる鮮度抜群のものばかり。安心・安全な（無農薬、有機肥料、無添加などの）野菜や果物を中心に、旬のものが揃っています。

生鮮品だけでなく、乾物、お米、お肉、お魚、お酒、お菓子、調味料、冷凍食品などその土地ならではのバラエティ豊かな品々が並んだ店内は見て回るだけでも楽しくなります。季節ごとにおすすめの商品が変わったり、週替わりで各友好都市のイベントが行われるなど、足を運ぶたびに新たな発見があるのがこのお店の魅力。通い続ければお気に入りの都市や生産者が見つかるかも。

また、お店の一角には武蔵野市観光機構が認定する武蔵野市の特産品「むさしのプレミアム」の品々が並んだコーナーも。市外の方への贈り物や帰省の際の手土産選びにも重宝しそうですね。

【参加自治体】
・武蔵野市
・富山県南砺市・長野県安曇野市
・長野県川上村・千葉県南房総市
・岩手県遠野市・新潟県長岡市
・広島県大崎上島町
・山形県酒田市・鳥取県岩美町

【shop data】
武蔵野市吉祥寺本町2-33-1
☎0422-29-0331
[営]10:30～18:30
[休]無休
http://mugiwaraboushi.main.jp





雲洞山 月窓寺にて

吉祥寺

体験時間

その一

坐禅

雲洞山 **月窓寺 坐禅会**

毎月第一火曜日　朝6時～8時

入場可能時間／開始30分前

早朝坐禅会で、乱れた心に落ち着きを取り戻しませんか？

吉祥寺駅北口を出てすぐ、サンロード商店街に面した龍宮門のような山門が印象的な曹洞宗系寺院、雲洞山 月窓寺。近くの交差点名が表す「四軒寺」（しけんでら）と呼ばれる４軒の寺院のうちの一つです。1663 年（寛文３年）からの歴史を持つこの寺院では、『吉祥閣』という寺務所のある建物内で、坐禅会や茶道・合気道・太極拳・書道などさまざまな教室が開かれています。その一つが坐禅会。早朝６時から行われるこの会は、誰でも自由に参加でき、多いときには 80 人以上の方が集まるそう。堂内で一斉に坐禅を組むその姿は、圧巻の一言です。初めての人は、まず別室で坐り方、姿勢、呼吸法、心構えなどを教えていただき、その後堂内へ戻り坐禅を行います。３回の坐禅の間に、休憩を挟み、「経行」という歩く坐禅も行われます。これは、坐禅に伴う足の痺れや眠気を取り除く効果もあるようです。

日常の喧騒を忘れて、厳かな堂内でただひたすら無心になる――。２時間の坐禅を終えると、参加された方はみな清々しい面持ちで帰っていくそう。厳しい現代に生きる私達にとって、坐禅は心の澱を取り払い、静かな気持ちで己を見つめる機会を与えてくれるのかもしれませんね。

武蔵野市吉祥寺本町1-11-26　☎0422-22-2345

Pick Up!

Kichijoji

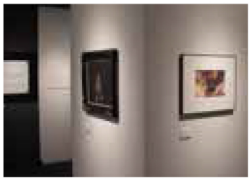
CULTURE TIME

Vol.01

日常の瞬間を切り取った断片に、内なるイメージを重ね合わせた独自の世界を表現するフォトグラファー／アーティスト

街を歩けばアーティストに当たる――。吉祥寺は古くから文化の発祥地であり、芸術家たちが自分を表現する場としてアート活動が盛んに行われています。今回ご紹介するフォトグラファー／コンテンポラリー・アーティストの高島空太さんは、吉祥寺の街で偶然出会った新進気鋭のアーティスト。2012 年に初めて個展を開いて以来、繊細でオリジナリティ溢れる独自の世界観を表現した写真を発表し続けています。コンテスト受賞経験などを経ながら、今年２月には銀座で写真展を開催。３月には大阪にも出展します。自身が制作した吉祥寺のアトリエでは、面白いイベントを開催予定だそう。興味を持った方はぜひ。

[アトリエ所在地]吉祥寺本町2-14-7 吉祥ビル隣
http://www.kuta-takashima.com/


先月行われた銀座での個展の様子。



現実と空想が交差するモノクロとセピアの不思議な世界。見つめていると作品の中に吸い込まれそうな気がしてきます。



自身で素材から集めて制作したアトリエ。ここから彼の世界が生まれるのです。



Kuta TAKASHIMA

Profile

高島 空太／タカシマ クウタ

1988年生まれ。フォトグラファー、コンテンポラリー・アーティスト。吉祥寺を拠点に活動。キヤノン写真新世紀 2012 佳作受賞、キヤノン写真新世紀 2016 優秀賞受賞の経歴を持つ。

3月まで｜清里フォトアートミュージアムにて展示会開催中

吉祥寺 本 BOOKS 時間

吉祥寺は本屋・古本屋の街という一面を持っている。
本誌オススメの本屋さんは、地元を代表するこのお店。

01 吉祥寺 BOOKS ルーエ

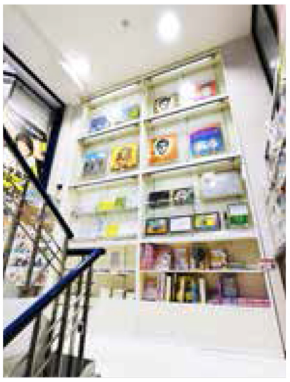


地上 3F のフロアには実用書から雑誌、文庫、マンガなどを豊富に用意。
それぞれの売り場ではユニークなフェアも開催しています。

武蔵野市吉祥寺本町1-14-3　☎0422-22-5677　[営]9:00〜22:30
[休]無休 ※元旦除く

吉祥寺らしいクリエイティブさと人情味を感じる本屋さん

ユニークなイベントと売り場づくりで有名なBOOKSルーエは、吉祥寺らしさが詰まった本屋さんです。吉祥寺ゆかりのアニメスタジオや漫画家さんとの繋がりが強く、コラボレーション企画も数々展開。地元の出会いから生まれたイラストレーターのキン・シオタニさん作のブックカバーは店の顔となっています。また漫画家の江口寿史さんともこの店を通じて知り合い、サンロード商店街のフラッグを手がけるなど「様々な作家さんとの縁をもらい、人と人、そして人と街をつなぐ役割が楽しい」と代表の永井健さんは話します。3Fにずらりと並んだ有名作家さんのサインも必見です。



2F ショーウィンドウでは吉祥寺ゆかりの作家さんの個展を随時開催中です



キン・シオタニさんデザインのブックカバー。他にも数種類あります。



代表取締役 永井健さん

Event info　3.1 san. START

『御書印プロジェクト』始まります！

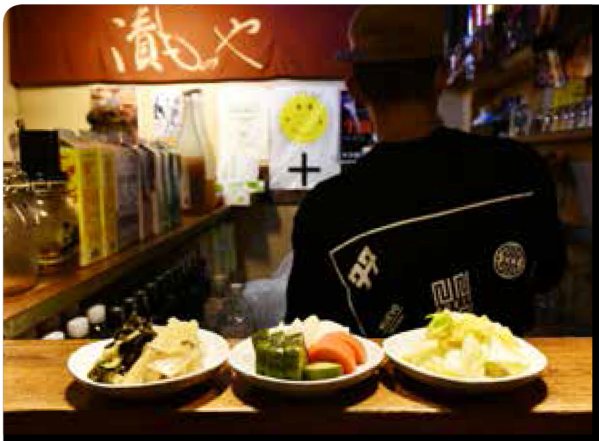
参加書店＝御書印店を回ってオリジナルの書印を入手しよう！書店巡りが楽しくなる、人と書店を結ぶ新しいプロジェクトがスタート。　詳しくは公式 HP へ→ https://note.com/goshoin

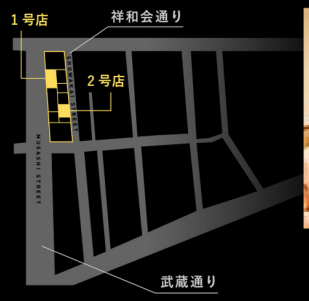


キン・シオタニさんが手がけたルーエの御書印

吉祥寺 ハモニカ横丁 時間

細い路地に飲み屋ひしめくハモニカ横丁には
個性的な味のある店ばかり。







#01 漬け物BAR 4328（清水屋）2号店

shimizuya

■1号店 [営]18:00〜　[休]不定休
■2号店 [営]20:00〜　[休]不定休
（10:30から17:00は漬け物専門店 清水屋として営業）

溢れるじいちゃんへのリスペクト 昭和20年から続く漬物屋のBAR

一杯引っ掛けよう。そう思い立ったら足は勝手に北口に向いていた。もはや言うまでもない。ハモニカ横丁は酒飲みのパラダイスだ。戦後のヤミ市をルーツに持つこの界隈がもたらすタイムスリップ感は、平成を飛び越え、意識は昭和初期まで飛んでいく。個性的な飲み屋が並ぶこの横丁で、ひときわ違和感を覚える暖簾が目に止まる。「漬物BAR？」聞けば昭和20年創業の漬物屋のBARだという。店に立つ兄弟は四代目、昨年他界した二代目へのリスペクトが店を開いたきっかけ。この味を広めたい、知ってもらいたいと思うほどじいちゃんの背中は強烈だった。

じいちゃんから学んだのは「継続は力なり」。その言葉は漬物屋の仕事そのものを表すといってもいい。先祖から受け継いだ創業から続くぬか床は、朝晩の手入れが欠かせない。使うのは塩水とぬかのみ、ごまかしは効かない。出しているのは浅漬け、中漬け、深漬けのぬか漬け3種と塩漬け。深漬けになるほど酸味が増し、漬かる時間が長くなるほど乳酸菌が発酵して旨味を醸し出す。深漬けの強い酸味は、酒の香りを爽やかにし、口の中をリセットしてくれる。日本酒、焼酎、ワインにも合う。なるほど、うまい酒をしっぷり呑みたいなら最高のアテだ。古今東西ごちゃ混ぜだけどなんかいい。そんなこの街らしさを堪能できるBARだった。

文／増子 知享

釣り掘りカフェ Catch&Eat 吉祥寺店





釣ったあとは、唐揚げか天ぷらで味わえるのが魅力。1時間2,000円（1ドリンク、調理代込み）。5月には2週間限定で、珍しい稚鮎が入荷予定！

釣りを楽しんだ後に、釣った魚が食べられる釣り堀。大きな水槽には、東日本では珍しいホンモロコなどの養殖魚がいっぱい！「釣りをもっと身近に。釣りをもっと気軽に」をコンセプトに、カジュアルな雰囲気で楽しめます。初心者もすぐに釣れるので、ファミリー連れやデートにもオススメですよ！

武蔵野市吉祥寺本町1-23-3 とみふくビル2F　☎090-1213-6559
［営］12:00～21:00、日曜・祝日10:00～21:00　［休］無休

お酒とお食事の店 カヤシマ





ドラマ「孤独のグルメ」に登場した、『わくわくセット（ナポリタンとハンバーグ）と味噌汁』880円。むさしの野菜も使用して地産地消に務め、地元を応援！

昭和50年創業のレトロな店は、吉祥寺の人々が集う場所。もともとは喫茶店だったが、「ちゃんと食事ができ、お腹いっぱいになるように」と、オーナーの佐藤さんが試行錯誤し、和洋楽しめる今のスタイルに。また日本酒や焼酎も豊富。都内でレアな銘柄などが常時30種類ほど揃い、夜まで賑わっている。

武蔵野市吉祥寺本町1-10-9 富澤ビル1F　☎0422-21-6461
［営］11:00～24:00　［休］不定休

KAJA吉祥寺本店





1Fでは、家具だけでなく、雑貨やオブジェも提案。3月31日まで、スタイリストがコーディネイトを提案してくれるインテリア相談会を実施中です！

「リゾートのように暮らそう。」をコンセプトにした家具や雑貨で、部屋を飾ってみませんか？ インドネシアの職人たちが手がける家具は、アジアの伝統的技術にヨーロッパのセンスをプラスした、リラックスしたデザインが魅力♪ 夏は涼しく冬は温かみある、ナチュラル家具でリゾート体験ができます。

武蔵野市吉祥寺本町2-2-8　☎0422-23-8337
［営］11:00～20:00　［休］無休

吉祥寺 ZENON SAKABA





店内には炭火場が！ みんなで囲んで盛り上がれる、『BBQコース』が人気。現在キャンペーン実施中で、5,000円（1名）が4,500円に！（4～30名まで）

「北斗の拳」や「シティーハンター」でおなじみ、吉祥寺の漫画出版社が運営するニュースタイルの酒場。阿蘇のあか牛や、ジャージー牛など熊本の旨い肉や、こだわりの肴が楽しめます♪ ステージで音楽ライブやダンスショーも開催！ お酒の自販機や人気キャラのグラスなど、遊び心いっぱいの空間です。

武蔵野市吉祥寺南町2-11-1　☎0422-27-2275
［営］17:00～24:00、土日祝は15:00～　［休］無休

楽天モバイル 吉祥寺サンロード店





SIMカードや端末を購入し、当日の受け渡しが可能。実際に端末に触れながら試せて、スタッフが丁寧に、サービスの詳細を教えてくれるのも魅力

話題の格安SIMを提供するお店。毎月のスマホ代を安くしたい人、2台目を検討している人、ぜひご来店ください！ 格安SIMって何？、楽天モバイルにすると、どれくらい安くなるの？ など、様々な質問にスタッフがていねいにお答えします。ライフスタイルに最適なプランで新生活を送りましょう！

武蔵野市吉祥寺本町1-14-1　吉祥寺サンロードビル1F　☎0422-28-0773
［営］10:00～20:00　［休］無休

レモンドロップ 吉祥寺本店





『ストロベリーショートケーキ4号サイズ』2,592円。スポンジの間に、スライスしたイチゴとクリームをサンド。無料でクッキープレートのサービス付き

吉祥寺スイーツの代名詞「レモンドロップ」は、昭和55年にオープンしたケーキハウス。ベイクドタイプの『チーズケーキ』518円や、レーズン入りクリームをクッキーでサンドした『レーズンサンド』300円が、創業以来40年愛され続けている。吉祥寺の手土産にぴったりのスイーツがいっぱい！

武蔵野市吉祥寺本町1-2-8 レモンビル1F　☎0422-22-9681
［営］10:30～21:30　［休］無休

column

＃吉祥寺こじらせ系

【第１回】はじめまして、こばやしです

小林 愛

Profile／意識高いことが言えるようになりたい24歳の駆け出しフリーライター。「結構こじらせていますが病んではないです」

最近つくづくどこでもドアが欲しいと思う1995年生まれ25歳のこばやしです。住んでいるところは、田舎です。

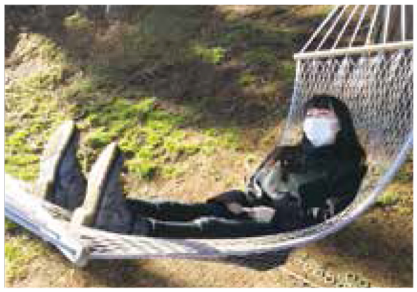
吉祥寺で視界いっぱいに、人がいるのを見ると、本当に今視界に入っている人の数が地元の人口なんじゃないか…？と思うほど、田舎です。

あ、いじめるのはやめて。

田舎育ちこばやし、なんと吉祥寺に足を踏み入れたのは大学生がはじめて。（下北沢にはやたらと行っていた）大学2年生の頃に「吉祥寺で遊ぼう」の会という項目で吉祥寺と初対面を果たしました。

ほんの少し歩いただけの吉祥寺に「え？待って？生きる文化かよ!!」と、意味のわからない言葉を思わず口走ったのを覚えています。

あの時の語彙力のなさに感動するけれど、今でも勝手に「吉祥寺は文化の街」だと個人的に思っています。本当に。ほんとだよ。



そもそも吉祥寺は未知の世界で、なんとも言えないそのお洒落そうな雰囲気に、足をすくめてしまって。今考えてみると安直な名前の「吉祥寺で遊ぼう」の会が開催されなければ、吉祥寺に来るのは、吉祥寺WARP（ライヴハウス）に行く時くらいで。

毎回ライヴに来る時は、開演時間ギリギリだから流れ星レベルで吉祥寺WARPにワープしてた（真顔）

だから、どんなイメージ？って聞かれると、住みたい場所ナンバーワンと言われるくらいなんだから「お？良いところなんか？住みたくさせてくれるんか？おん？」みたいな雑なイメージがありました。

そう、間違いなく、私は頭の悪い大学生だった。

だから、鳥たちがさえずりたくなっちゃうような、緑がたくさんある心地よい住宅街を予想していた19歳の春、私のその考えは地面に叩き落とされたのです。

そこは、生きる文化の街。

私はそんな吉祥寺の街を、ワープもどこでもドアも使わずに、じっくり、ゆっくり見て行こうと思います。

column

吉祥寺珈琲時間

――吉祥寺時間を読みながらコーヒーはいかがですか？――



もうだいぶ時が流れ、住んでいるこの街も年齢を重ねるごとにお洒落な街並みになり若者も増えた。しかし、街が変わっていく中でも、あの頃彼女と過ごした吉祥寺に帰ることができる場所がある。

それが行きつけの「珈琲立吉」だった。年齢のせいか少し重たい足もここに行く時は軽く思える。杖も、軽やかに地面を弾く。まるで、時が徐々に戻っていくような感覚だった。

寛ぎへの扉を開けると、珈琲の芳ばしい香りが鼻をかすめ、古めかしい味のある雰囲気と昔ながらの喫茶店といった風情に安心感を覚えた。

タイムスリップをするとは、このことだろう。40年前、珈琲立吉が開業し、20年前にこの場所に移り変わる様も見てきた。あの頃の自分と彼女を思い出し、昔の吉祥寺の雰囲気を肌で感じとることのできる空気感がいつまで経っても、愛おしいものだ。

私はいつも通り手前の席に座り、使い込まれた飴色のテーブルに被っていたハットを置いて息をつく。



白髪の混じった小柄な店主は、座って新聞を読んでいたが、私に気がつくとゆっくり動きだす。私が小さく「ココアを」と言うと、彼は微笑んだ。ダンディな彼の淹れる一杯が美味しいのだ。

スッキリとした甘すぎないそのココアが身体に馴染んでいくと、時間が止まっているような静寂が身を包みこむ。そういえば、彼女もここのココアが好きと言っていた。

鼓膜を静かに揺らす店主の優しい声と、格別な一杯を淹れる音。そして彼と「吉祥寺」について語りはじめると、たちまちここは、吉祥寺語り部会になる。

あぁ、この時間だ。ここにくれば、彼女を思い出すそのきっかけにもなる。安心の息が空気に溶けていくのがわかる。私はやはりここが好きなのだ。

この時間が何十年も愛おしい。

またタイムスリップをしに、私は「珈琲立吉」に足を運ぶだろう。

文／小林 愛



shop data　珈琲 立吉（たつきち）　武蔵野市吉祥寺南町1-15-5　☎0422-48-4450　［営］12:00～19:00　［休］水曜

KICHIJOJI テクテク 商店街 探訪時間

吉祥寺 南口商店会

井の頭公園へ続く七井橋通りを中心に、雑貨店や古着店などのアパレル、喫茶店など、楽しみながら巡れる店が多く集まる。

安全で楽しくショッピングできる南口と井の頭公園をつなぐ商店街

生まれも育ちも吉祥寺という、商店会の会長を務める東山忍さん。「南口は、北口と違って発展が遅かったんですよ」と優しい口調で話す。「マルイを核として、井の頭公園に来園するお客様に公園の魅力を味わってもらい、商店街を回遊しながら楽しんでもらっていますね」と、周辺の特徴を教えてくれた。今は、公園につながっている通りが2本あるけれど、昔は1本しかなかったそうだ。「まだ七井橋通りに店が何もない頃、焼鳥のいせやが店を作り、焼鳥の香ばしい匂いと煙に誘われて人が増えて、マルイができてからお客さんが集まりはじめたんですよ。『最初はお客さんを引っ張るのが大変だった』と、いせやの亡くなった社長がよく言っていました」と、昭和40年代は今の賑わいから想像がつかないほど閑散としていたらしい。

そんな商店街一帯は、オールシーズン多くの人が訪れるが、井の頭公園がピンク色に染まる桜のシーズンは特にオススメ！「池もキレイになり、我々が子供の頃に見ていた水鳥が戻り、水草も生えてきた。街にこういう公園があるのは大変ありがたい。貴重な財産です」という東山さんの想いが、この商店街のすべて。

そんな商店街にも課題はある。「我々が子供の頃は、バスが1日10数本走っていた。それが、今では700本近く走っていて、当時と同じく駅前で乗客を降ろしている。それもバス停がない駅の階段下で！　まずハード面の改善が最優先ですね」と、隣のパークロード商店会と共有するバス問題を抱えている。将来的には、パークロードを歩行者優先道路にして交通広場を作り、すべてのバスを井の頭通りへ迂回させる計画が進行中。さらに、40〜50年超えの建物が多く耐震問題もあるので、複合ビルを建てる計画も必要なのでは？と、考えているそう。こうした30年先を見据えた再開発で、安心安全にショッピングできる街づくりを目指す南口商店会。過去と現在、そして未来も変わらず、井の頭公園と共に歩んでいく。





イラスト／和田 有里絵

A RENJISHI 吉祥寺店



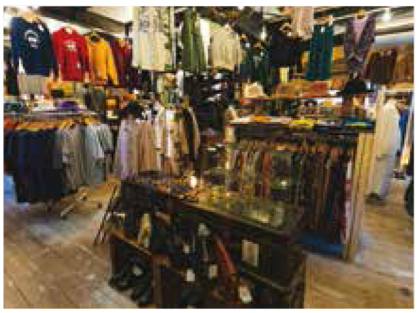


ショートが得意な美容室。より立体的で「あなたに合う」ヘアスタイルの提供を目指している。スタイリストカット6,320円〜

36年前に、吉祥寺と青山でスタート。ヴィダルサスーンで学んだオーナーが、日本人の骨格や毛質、クセに合わせ改良した、独自技術をスタッフに継承。本物の技術で、満足いくスタイルに仕上げてくれる美容室だ。春先は、癖のある髪をナチュラルに伸ばす、『酸熱トリートメント』がオススメ！

武蔵野市吉祥寺南町1-1-10 MAビル3F　☎0422-46-4424　[営]月曜10:30〜19:30（最終受付18:30）水〜金曜〜20:30（最終受付19:30）土曜・日曜・祝日9:30〜19:30（最終受付18:30）　[休]火曜・第3月曜（年末年始はのぞく）

B フラミンゴ 吉祥寺店





春先のオススメコーデは、メンズなら、プリントTや柄物シャツに、ワイドシルエットのスラックス。レディースなら、ペールトーンのシャツとボトムスが◎

アメリカ、ヨーロッパから1点1点厳選した、40年代〜90年代の幅広い旬なアイテムが揃う古着店。コンセプトに掲げた「身近なヴィンテージショップ」というテーマ通り、古着をはじめて手にする人にもオススメのショップ。アイテム状態も良くサイズ展開も豊富なので、古着探しの1軒目にぜひ！

武蔵野市吉祥寺南町1-17-9 メゾンブランカB棟2F　☎070-1483-5965
[営]12:00〜21:00、土曜・日曜・祝日11:00〜21:00　[休]無休

商店街 今昔写真館



提供：武蔵野市

▲道路改修中のパークロード。マルイがまだ、ドン・キホーテの場所に。都市化の幕開けを感じさせる１枚

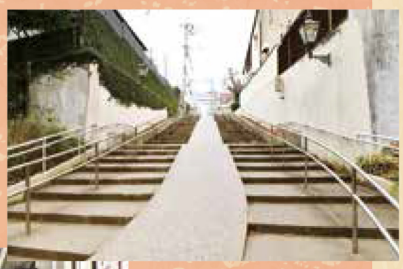


提供：武蔵野市

▶高島屋やスバル座が懐かしい、かつての南口の井の頭通り。現在の吉祥寺東急 REI ホテルあたりの風景



◀今も昔も、吉祥寺のオアシス井の頭公園。映画やドラマの舞台にもなって、全国から多くの人が訪れる観光スポット





▲商店会の回遊性を高めるために、市に協力してもらって追加した階段。行政と一体となった街づくりも魅力

◀南口商店会のメインストリート「七井橋通り」。休日は、ショッピングを楽しむ多くの人で賑わう

Ⓒ 吉祥寺 もつやき カッパ





隣の人との距離も縮まるコの字カウンター。会話を弾ませながら、カッパのCMでおなじみ、黄桜とのマリアージュを楽しんで。串焼きはすべて110円

毎日仕入れる豚モツを、炭火でパリッとジューシーに焼いた豚の串焼きが名物。鮮度が命のモツは臭みがなく、旨味たっぷり。特にレバーはオススメのひと串！ 祖父から、仕込み・接客・メンタル・人生観の全てを学んだ2代目が、しっかり技と味を継承する。開店前の常連さんの列が風物詩に。

武蔵野市吉祥寺南町1-5-9　☎0422-43-7823　[営]16:30～22:00
[休]日曜・祝日

Ⓓ 吉祥寺サーキット





駅南口から徒歩数分で、ラジコンカーが楽しめるサーキットは、大人からファミリーまで気軽に遊べるのが魅力。マシンいじりを通してコミュニケーションを深めよう

ラジコンカー専用のサーキット。様々なレイアウトのコースが、屋内に5つと屋上に2つ完備されているので、車種に合わせた走行ができる。また、マシンのレンタルもあり、手ぶらでもOK！キュルルとタイヤ音を響かせながら走り回る、スピード感あるラジコンの魅力に取りつかれること間違いなし！

武蔵野市吉祥寺南町1-16-11　☎0422-29-8338
[営]11:00～20:00、土曜10:00～21:00、日曜・祝日10:00～20:00　[休]水曜

Ⓔ ケーニッヒ 吉祥寺





好みの2種類のパンと6種類のソーセージから選べる『ホットドッグ』は750円～。各種ドイツビールと一緒に、公園散策のお供にどうぞ！ソーセージ単品の販売も

パリっとした歯応えのジューシーなソーセージで、ホットドッグが美味しいと話題。それもそのはず！ 本場ドイツ・ヘッセン州ヴェッツラーの、伝統技法で手作りされるソーセージは、ドイツやオランダの国際食品見本市などの品評会で、数々の賞を受賞した逸品ばかり。ドイツビールと一緒にいかが？

武蔵野市吉祥寺南町1-17-1 1F　☎0422-49-4186
[営]10:30～20:00　[休]無休

Ⓕ 大原商店 吉祥寺本店





様々な楽器を奏でる、オーケストラの猫が可愛い『オケネコのオブジェ』1体1,100円～。その他にも、部屋のアクセントに最適な雑貨がいっぱい！

七井橋通りの左右にある、雑貨と服飾のお店。店内には、エスニックな雰囲気のアクセサリーやバッグなどファッションアイテムのほか、アフリカンマスクや南米雑貨などが並び、見ているだけでもワクワク楽しい。向かい側では、南米ペルー産のアルパカニットと、インド綿の衣料を販売。

武蔵野市吉祥寺南町1-15-4 伊藤ビル1F　☎0422-48-2461
[営]11:00～20:00　[休]元旦

column

ONCE UPON A TIME -IN JOJI-

過去と現在がシンクロする
不思議な吉祥寺ストーリー

ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジョージ

レンガ館モールの地下にはゲームセンターがあった

まさかこの俺が、またこの吉祥寺という街に舞い戻ってくる羽目になるとはな…。

俺が毎日、吉祥寺に入り浸っていたのは、もう30年以上も前、１９８０年代の話だ。当時はまだ上京したてのバカな若造だった俺は、

①「とりあえず、早く都会風にカッコよくなって女にもてたい！」

②「遊んでいても金がもらえる楽なバイトがしたい！」

というような、虫のいいことだけを考えて生きていた。

結果的には①はなかなか入手困難で終わったわけだが、②は意外にすんなりと手に入れることができた。それが、吉祥寺レンガ館モールの地下にあったゲームセンターでのアルバイトだった。

楽して金を稼ぎたい、という動機で働き始めた人間がゲーセンという職場でやることと言えば、「仕事は適当に流して、ひたすらゲームをしまくること」しかなかった。

当時主流のゲームは、小さいテーブルにモニターが埋め込まれた、いわゆる「テレビゲーム」というものだったが、俺はそんなものには目もくれず、徹底して「ピンボール」の練習に打ち込んだ。理由は、ピンボールが上手いと、女にもてそうな気がしたからだ。このあたりにも、当時の自分の人生観が色濃くにじみ出ている。結果、俺のピンボールプレイはどんどん上達し、俺がプレイする時は、周りにギャラリーができるほどだった。（それで女にもてたことは一度たりともなかったが。）

当時から吉祥寺は週末ともなると結構な賑わいで、レンガ館地下のゲーセンも閉店間際になっても、なかなか客が帰ろうとしなかった。

「これじゃ、バイトが終わらんぜ…。」

そこで俺は一計を案じて、店内のＢＧＭ用のジュークボックスの中にあるレコードで、客が聞いたらきっと帰りたくなるようなやつを選んでかけてみた。曲は（荒井だった頃の）ユーミンの「翳りゆく部屋」。ゲーセンには不釣り合いな、教会音楽のように荘厳なこの曲がかかると、客たちは何故かそそくさと、家路につき始めるではないか！これは今から思えば「蛍の光」に近い効果だったんだろうけど、若い俺には一種の大発見だった。ゲーセンにとっては、客を帰してしまうような迷惑な発見だったに違いないが。

それから30年の月日が流れ去り、何の因果かはわからないが、そんなロクでもない思い出に満ち溢れたこの吉祥寺の街で、再び働くことになってしまった。

先日女房と子供を連れて、レンガ館の地下のゲーセンがあった場所に今ある「ガスト」で食事をしてみた。昔、ピンボールコーナーがあった、店の奥の壁際をぼんやり眺めていたら、仕事もしないでピンボールに興じる、若い頃の自分の姿が、一瞬、見えたような気がした。



文／埴部 岩窟
HANIBE GANKUTSU

何十年ぶりで、この街『吉祥寺』に舞い戻ってきた謎のシークレット・エージェント。インポッシブルなミッション遂行のため、日夜吉祥寺で暗躍中

column

それは究極のプライベートルーム

KICHIJOJI TOILET TIME

そこは、
訪れないと出会えない秘密の部屋。
しかも、その扉を開けるまでは
どんなものなのかも予測はつかない。
素敵トイレは、
案外身近にあり、
その世界観は無限大に広がっている。

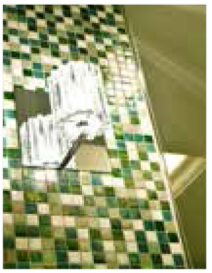
－素敵トイレ愛好家

No.1



女性用トイレ





開放感が溢れ輝きを放つのは、吉祥寺第一ホテル内、地下にあるボウリング場のトイレだ。
センスのある新緑のデザインタイルに魅了され、その上品さに感情が高まる。美しさを兼ね備え、街灯のような照明や壁面デザインのこだわりがみえる。細部にまで行き渡る清潔さに思わず吐息をもらす。

ぜひ、見に行って欲しい。

まるで、ボウリング場のレーンのように艶があり神々しい床に思わずボールを投げたくなるくらいなのだ。

感動と満足を届けるトイレとは、きっとこのことを言うのだろう。



吉祥寺第一ホテル 東京ボウリングセンター

武蔵野市吉祥寺本町2-4-14
☎0422-21-9868(直通)

PRESENT ―― 読者プレゼント ――

1 5名様



吉祥寺第一ホテル
東京ボウリングセンター より
「ボウリングゲーム券 4枚セット」

歴史ある「東京ボウリングセンター」で、昭和レトロなムードを楽しもう！ ボウリングゲーム券を4枚セットで5名様にプレゼント。

2 5名様



吉祥寺サーキット より
A.「ラジコンカー&コースレンタル15分無料券」(1名様)
B.「コースレンタル1時間無料券」(4名様)

専用サーキットでドライブ感を満喫しよう！ 合計5名様に。**※Bはラジコンカーご持参の方のみ**

3 5組10名様



釣り掘りカフェ
Catch＆Eat 吉祥寺店 より
「魚匹数制限 2倍増量サービス（10匹→20匹）」

「釣り」をもっと気軽に。釣ったお魚を調理してくれるCatch&Eatから、匹数制限2倍増量サービスを5組10名様にプレゼント！

4 5名様



吉祥寺虎屋
茶寮 吉祥庵 より
ご注文された方「クリームソーダ無料」

吉祥寺の街を楽しんだ後は、和テイスト溢れる吉祥庵でブレイクタイムを。お料理やお飲み物、デザートなどご注文された方に。

5 5名様



大原商店 吉祥寺本店 より
「ココペリチャーム」

エスニックテイスト好きなら訪れたい大原商店。ネイティブアメリカンの精霊「ココペリ」をモチーフにしたチャームを5名様に。

6 3名様



吉祥寺 砂場 より
「お食事券 1,000円分」

本格的な江戸前蕎麦が楽しめる吉祥寺砂場よりお食事券1,000円分をプレゼント。ツルッとした喉ごしと特製麺つゆの粋な味を楽しんで。

官製葉書またはメール、Faxにてご応募下さい。ご希望のプレゼントを第3希望までお選び下さい。①第1希望プレゼント番号 ②第2希望プレゼント番号 ③第3希望プレゼント番号 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥氏名 ⑦Tel ⑧性別 ⑨年代（例：50代）⑩職業（会社員、公務員、パートアルバイト、学生、主婦、その他）⑪本誌の感想、ご意見当選発表はチケット郵送をもって替えさせていただきます。【応募締切】2020年4月30日消印有効 【送り先】〒243-0013 厚木市泉町8-5 溝呂木ビル2F 株式会社日本デジタルワークス 『吉祥寺時間』読者プレゼント係 Fax：046-229-0802 メール：info@kichijoji-time.com お問合せTel：046-229-0819
【個人情報の取扱について】 応募された方の個人情報は希望された該当店舗に当選者情報を開示し、店舗からのパンフレット等が送付される場合がございますのでご了承下さい。また、感想は誌面にて匿名で使わせて頂く場合がございます。それ以外の第三者への開示は一切行いません。

掲載店MAP

吉祥寺時間 に 広告を掲載してみませんか？

地元の魅力を再発見！をテーマに、地域密着型のフリーマガジンとして創刊した吉祥寺時間。飲食店、美容、カルチャーなどあらゆる分野にスポットを当てたお店紹介をメインに、企業様とのタイアップ企画やちょっと視点を変えたコラムなど、工夫を凝らした誌面構成を目指します。御社・貴店の「いいところ」を、ぜひ紹介させてください。



☑ カセット広告（定型）

1回掲載	30,000円〜
6ヶ月（3回掲載）	25,000円〜／1回
1年（6回掲載）	20,000円〜／1回

※月々払いも可能 ※消費税別途

☑ 編集タイアップ広告

料金	1ページ 120,000円〜

※企画料、取材費、ライティング、制作費は別途お見積ご提案致します。

ただのフリーマガジンではありません。
じっくり「読みたい」情報誌です。

求人

「魅せたい」をください。
編集兼ライター



吉祥寺時間で地元の魅力を共に発信しませんか。学生さんや主婦の方も大歓迎です。



自分のペースでお仕事できる！
配布スタッフ

スキマ時間を活用して『吉祥寺時間』を配布してみませんか？ お気軽にお問い合わせください。

設置店募集

専用ラック（大or小）を常設頂くと、発行ごとにスタッフが吉祥寺時間を設置・補充に伺います。ともに街を盛り上げませんか。



【発行元・各種お問い合わせ】 株式会社 日本デジタルワークス ☎046-229-0801／☎046-229-0819（編集部） info@kichijoji-time.com

吉祥寺時間 00

ほっこり吉祥寺。

吉祥寺時間、始まります。

発行日／2020年3月3日（隔月1回発行）
発行所／神奈川県厚木市泉町8-5 湯呂木ビル2F　発行人／荒井康孝
TEL 046-229-0819　FAX 046-229-0802